

平成29年度 碧南市文化財展

北海道由仁町青年友好都市提携30周年

北海道開拓と加藤平五郎



北海道百年記念塔

未来への発展を象徴し、1968年着工された

日時 平成29年 **11**月 **11**日(土) ~ **26**日(日)

午前9時～午後9時

会場 碧南市文化会館 1階 展示室1 (月曜日休館)

主催 碧南市教育委員会

主管 碧南市文化財保護審議会

お問い合わせ 碧南市文化財課 TEL (0566) 48-6602

《 主な展示品 》

- ① 阿弥陀如来立像写真 松平信光・家康・加藤平五郎ゆかりの鎌倉期仏像写真
- ② 碧南に逃れた廃仏毀釈ゆかりの仏像
- ③ 北海道開拓の写真
- ④ 加藤平五郎開拓時の道具類3点
- ⑤ 加藤平五郎ゆかりの由仁町の史跡写真
- ⑥ 加藤平五郎、加藤磯一、加藤良平の書簡
- ⑦ 青年友好都市由仁町との提携関係資料
- ⑧ 碧南市所蔵友好都市、姉妹都市ゆかりの品



《 文化財展解説より 》

平成29年度の碧南市文化財展は、来年北海道由仁町青年友好都市提携30周年となるのを記念して「北海道開拓と加藤平五郎」をテーマに開催の運びとなりました。平五郎は明治時代、北海道開拓で成功を収めた新川の人です。

わたしたちの大浜、棚尾、新川、西端、旭出身者にもふるさとを飛び出して大活躍した若者が何人もいます。明治用水を完成させた岡本兵松、安城ヶ原に「日本デンマーク」を象徴する板倉農場を築いた板倉源太郎、北海道との海運を成功させた加藤稲吉、北海道開拓の加藤平五郎、彼らは、みな碧南地域の出身者です。

明治時代は、「庶民が国家というものにはじめて参加しえた感動の時代」と表現できます。長く続いた身分制度から開放され、「個人の栄達は、国家の利益と合致する時代」でもありました。

平五郎は、北海道土地払下げ規則を使い、北海道由仁村の原野に踏み入り開墾に挑みました。道をつけ、橋を掛け、駅（停車場）をつくり、開拓民を呼び集め広大な土地の払下げに成功します。平五郎は、学校、郵便局、神社、寺院をつくり消防団も組織しました。北海道由仁村に三河に生まれた平五郎の「みかわ」が築かれたのです。